

第37回理事会・第18回社員総会 議決

令和3年度

事業計画書

令和3年4月1日から

令和4年3月31日まで

公益社団法人 北之台雅楽アンサンブル

【基本方針】

- (1) 公益目的事業Ⅰ—国内雅楽演奏会等の開催
- (2) 公益目的事業Ⅱ—海外雅楽公演等の開催
- (3) 公益目的事業Ⅲ—教育機関等における雅楽紹介
- (4) 管理・広報部門の充実（法人活動）

【具体的事業】

1. 公益目的事業Ⅰ—国内雅楽演奏会等の開催

① 国内雅楽演奏会

【事業名1：地域における雅楽の振興】

- a. 事業の趣旨：地域の催しに参加し、地元で雅楽の振興を深める機会を増やす。
- b. 日 時：令和3年10月他
- c. 場 所：長者天神社境内他
- d. 対 象：一般
- e. 入場料：無料
- f. 内 容：雅楽演奏（管絃、舞楽）
- g. 主 催：地域商工会等

② 雅楽に関する講演会

【事業名1：第12回「雅楽と国際文化交流」】

- a. 事業の趣旨：国内外の各界の有識者を招聘し、日本文化を中心に多岐に渉るテーマについて講演を行い、国際文化交流を推進すると共に、日本の伝統文化である雅楽の紹介を願いとす。
- b. 日 時：令和3年10月15日（金）16時開演
- c. 場 所：東京大学伊藤謝恩ホール（東京、本郷）
- d. 対 象：東京大学学内教員10名、学生30名、学外一般90名
※新型コロナウイルス感染対策上、参加者を148名に限定
- e. 登録料：全席事前予約 一般2,000円、学生1,000円
- f. 内 容：講演と雅楽演奏
第一部 講 演
講師：羽田野直道教授（東京大学）

テーマ：和音の科学

第二部 雅楽演奏

管絃・舞楽

g. 主 催：北之台雅楽アンサンブル

h. 後 援：東京大学生産技術研究所

2. 公益目的事業Ⅱ—海外雅楽公演等の開催

① 海外雅楽公演及びそれに伴う事業

【事業名1：2021 欧州公演】

- a. 事業の趣旨：Covid-19 収束後、千数百年の歴史ある雅楽を欧州に紹介し、日本伝統文化への理解を深めると共に、異文化間の相互理解・友好親善の一助となることを趣旨とする。
- b. 日 時：令和3年10月以降（日程はCovid-19 感染収束後に決定）
- c. 場 所：ベルギー、スイス
- d. 対 象：一般及び学生
- e. 内 容：雅楽演奏（管絃・舞楽）、楽器紹介
- f. 渡航人員：10名前後
- g. 現地受入れ機関（予定）：
 - ベルギー：ルーヴァン・カトリック大学、日本人学校
 - スイス：在スイス日本国大使館、ジュネーブ大学、チューリッヒ大学、フォレスト財団他

② 海外における教育機関における雅楽演奏会、日本文化体験教室

対象事業はない。

3. 公益目的事業Ⅲ—教育機関等における雅楽紹介

① 雅楽演奏会

対象事業はない。

② 雅楽体験教室

【事業名1：伝統芸能・洋楽～ふれあい体験事業 千葉県庁委託事業】

- a. 事業の趣旨：当該事業は千葉県環境生活部県民生活・文化課策定の「伝統芸能・洋楽～ふれあい体験事業」実施要項に基づき実

施する。千葉県内の小中学校の児童・生徒を対象に、邦楽理解の向上と伝統的音楽文化の普及・振興、並びに邦楽における後継者育成に寄与する。

- b. 日 時：令和3年9月より令和4年2月
- c. 場 所：千葉県内小中学校8校（教育委員会推薦）
- d. 内 容：管絃と舞楽演奏及び楽器・舞楽の体験教室等
- e. 参加人員：楽人11名、舞人4名、スタッフ8名 計23名

【事業名2：小中高校における雅楽体験教室】

- a. 事業の趣旨：国内の小中高校の児童・生徒を対象に、雅楽体験教室を行い、日本の伝統文化への理解を促すことを目的とする。
- b. 日 時：令和3年度内
- c. 場 所：関東圏内で1～2校を対象とする。
- d. 内 容：管絃と舞楽演奏及び楽器・舞楽の体験教室等
- e. 参加人員：楽人11名、舞人4名、スタッフ8名 計23名

③ 雅楽研修会

【事業名1：清泉女子大学夏季集中講座】

- a. 事業の趣旨：清泉女子大学日本語日本文学科より要請を受け、同学科が各分野の専門家を招聘して毎年実施する「日本芸能文化」の授業の一環として実施する。本集中講座への参加を通し、同校学生の雅楽への理解を深めることを趣旨とする。
- b. 日 時：令和3年9月13日（月）～16日（木）
※期間中毎日、3講義を（①10:55～12:40、②13:40～15:25、③15:35～17:20）を実施。
- c. 場 所：清泉女子大学講堂
- d. 対 象：同校日本語日本文学科学生約100名
- e. 内 容：「源氏物語と雅楽」をテーマに、雅楽に関する講義に合わせ、雅楽の実演（管絃、舞楽、歌謡）、楽器紹介、楽器体験を行う。
- f. 参加人員：楽人11名、舞人4名、スタッフ8名 計23名
- g. 主 催：清泉女子大学日本語日本文学科

4. 管理・広報部門の充実（法人活動）

① 広報活動

- a. Web、情報誌、パンフレット、チラシを媒体とした PR 活動の推進
- b. 賛助会員募集（個人会員）の推進
- c. 年会報（年一回）の作成（賛助会員配布用）

② 事務機能の充実

- a. 定款による事務業務の遂行

以 上